大会 報告

2014年度関東学連定例戦

平成 27 年 2 月 14 日 埼玉県秩父市/埼玉県横瀬町

東大 OLK 木島佑輔

2015年2月14日 埼玉県秩父市/横瀬町 2014 年度関東学連定例戦

関東ではおなじみのテレインで

2013 年度は大雪のため中止された関 東学連定例戦。2014年度の定例戦は関 東のオリエンティアにとっては馴染み 深いだろう「宇根峠」にて開催された。 当テレインは南から北へ伸びる二本の 主尾根から構成される。首都圏近郊の テレインとしては比較的植生が良好で、 一部急峻かつ微地形の発達したエリア があるため 3 月の愛知インカレ対策と して参加した学生も多かっただろう。

大会当日は快晴であったものの、残 雪の影響で地面は非常に滑りやすくな っておりあまり良いコンディションと は言えなかった。それでも大きなけが をした参加者はいなかったため運営者 として安心した。

関東の有力選手が火花散らす

MA クラスには糸賀選手、尾崎選手、 福井選手といったインカレロングの入 賞者が出走し、春インカレの前哨戦と して注目された。結果、レースを制し たのは福井選手(東大 OLK)。テレイン のコンディションの影響もあり優勝設 定時間には及ばなかったが、安定した 走りで二位に4分差をつけて圧勝した。

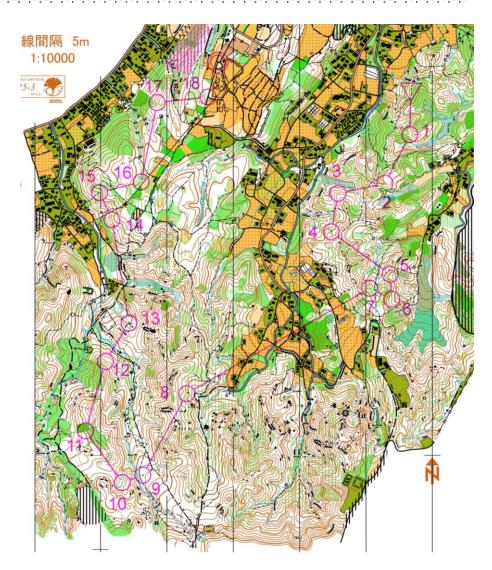
WA クラスには女子のオフィシャルを 務める男子選手の出走を認めたため上 位三人中二人が男子選手となったが、 それでも伊東選手(東大 OLK) が二位に 食い込み、実力を見せた。

今回良い走りを見せた福井・伊東両選 手は一月後のインカレミドルでメダル を獲得しており、このレースが良いイ メージを作る一因になったのかもしれ ない。

新たな試み

本大会においては新たな試みとして ラップ付の速報を導入した。まだまだ 試行段階ではあるが、改良してもっと 実用的なものにすることができれば、 この記事が発行される 6 月の東大大会 にてお見せできるかもしれない。

また、この定例戦は来る東大大会の運 営の練習として現役の二年生が中心と なって運営した。大会や練習会の運営 を練習する場はなかなかないため、ぜ ひ来年以降も開催していきたい。



最後になるが、お忙しいところいらし てくださった参加者の方々にお礼申し 上げたい。

↑MA コース図

序盤は登りが続くため粘り強い走りが求め られますが、後半は一転して下り基調のた め爽快に走ることができます。

結果

MA

- 1 福井悠太(東大 OLK)
- 2 戸上直哉(東工大 OLT)
- 3 小島拓也(UNK)

- 1 山本淳史(トレラン)
- 2 伊東瑠実子(東大 OLK)
- (参考) 宮川早穂(運営)
- 3 新井悠功(群馬大オフィシャル)

(文責 木島佑輔)